

介護福祉学科 企画 「介護フェスタ」

～見て・触れて・気づく 介護福祉の魅力発信・啓発・体験型イベント～

中村直樹¹⁾

1. 事業の概要

本事業は、本学が令和3年度青森県 福祉・介護人材確保対策事業補助金（以下、補助金とする）を申請・取得し、令和3年11月3日から11月14日にかけて県内3会場のべ5日間にわたり開催したものである。厚生労働省が制定している毎年11月11日（いい日、いい日）の「介護の日」に併せて、地域住民や介護福祉に興味をもつ小・中学生、高校生などを対象に、介護のを知り、理解を深め、一緒に考えることを目的に、平成29年度より本事業を企画・実施しており5周年を迎えた。本年度も補助金を取得し、以下に挙げる県内3か所（東青地区、中南地区、西北五地区）の商業施設を会場に、福祉・介護の仕事の大切さと魅力を伝えるための「介護フェスタ」を実施したので、このことについて報告する。

2. 開催日時・場所

- 第1回目（五所川原市会場）
令和3年11月3日（祝・水）
10：00～16：00
ELM（エルムの街）本館2F エルムホール前ギャラリー
- 第2回目（青森市会場）
令和3年11月6日（土）・7日（日）
10：00～16：00
マエダガーラモール 1F 特設会場
- 第3回目（弘前市会場）
令和3年11月13日（土）・14日（日）
10：00～16：00
イオンタウン弘前樋の口 ライトオン前特設会場

3. 開催内容

新型コロナウイルス感染症の発生状況が収まってきていたため、昨年度と同様に感染症対策を行ったうえで以下のイベントなどを進行した。

1) 福祉〇×クイズ大会

各会場とも、午前2回・午後2回を基本としてそれぞれ約30分間、介護保険制度や認知症、感染症予防、車椅子の操作方法などの内容に焦点を当てたクイズ大会を開催した。筆者が司会者を務め、〇×形式で来場者に回答してもらう形式により実施した。これまでは本学教職員が解答解説場面での寸劇演者を務めていたが、感染症予防の観点から、本年度は事前に録画（出演：工藤雄行・福士尚葵）したものをスライドに組み込んで行うこととした。



写真1

1) 弘前医療福祉大学短期大学部 介護福祉学科（〒036-8102 青森県弘前市小比内3丁目18-1）



写真2 福祉〇×クイズ大会に参加する来場者

2) MC×若手介護福祉士&介護福祉学生トークセッション

各会場とも、11月3日・7日・13日の午後1時から約60分間、メインステージを会場にMC（進行役）と若手介護福祉士及び介護福祉学生によるトークセッション（以下、トークセッションとする）を開催した。MC役は筆者が担当した。また、若手介護福祉士（本学卒業生）と介護福祉学生（本学介護福祉学科1年生から選抜）を各1名ずつゲスト出演してもらった。

冒頭で、下田肇学長のビデオメッセージ（挨拶）の後、「青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン¹⁾」の内容を解説し、その後、MCの進行にあわせながら、ゲストの自己紹介、仕事や勉強の内容紹介などの後、介護福祉士を目指したきっかけ、短大（養成校）で介護を学んでみての感想、実習を通して学んだこと、介護福祉士として働くことの楽しさや魅力、仕事する上で抱える課題や克服策などについて、「つらいこと、大変なこと、また、経験上困ったこと」・「楽しいこと、介護の仕事をしている喜び、経験上のノウハウ・キャリアアップ」といったように、一つずつ題を出しながら進化した。セッションの最後にはまとめとして、事前に準備したフリップに「私の決意」を書いてもらい、来場者に向けて自己の抱負を述べてもらった。



写真3 トークセッションの様子

3) ミニ講座「介護と防災を考える」

各会場とも、11月3日・6日は午前11時から、14日は午後1時からそれぞれ約30分間、メインステージを会場に、本学救急救命学科教員（中川貴仁・荒谷雄幸・鳴海圭佑・久保浩介）及び救急救命学科学生（大畑翼・工藤颯太）によるミニ講座「介護と防災を考える」を開催した。冒頭で荒谷講師により、もしも災害が起きた時に介護場面においてどのような行動がとれるか、またその備えとしてどのようなことに取組んでおけばよいのかなどについて講義をしてもらった後、自宅における入浴介護場面を想定したミニ寸劇を披露した。高齢男性が入浴中にヒートショックを起こし救急隊員に引き継ぐまでの場面を想定し、浴槽からの搬出法や毛布・シーツなど自宅にあるものでの応急的な運搬方法などについて実演し、最後に来場者にも体験してもらった。



写真4 ミニ講座における白熱の演技

4) 企画展「感染症対策 ～その時介護現場では～」

昨年度に引き続き、介護施設・事業所などにおける感染対策や利用者及び家族への対応などについて、筆者が取材した内容をパネル展示した。介護現場における手指衛生、体調管理、マスク着用、面会制限、オンライン面会など、介護職員の創意工夫について紹介した。また、「Q&Aで学ぶ！ 新型コロナウイルス・インフルエンザなどの感染症対策」と題し、介護・福祉現場における感染症対策について展示した。



写真5 企画展「感染症対策～その時介護現場では～」

5) 介護レクリエーション体験

本年度新たに、「タイムしりとりゲーム」と題した介護レクリエーション体験のコーナーを設けた。実際に介護施設やデイサービスセンターなどで脳トレや認知症予防の観点から導入されているレクリエーションについて、初級・中級・上級編に分けて来場者に体験してもらった。

上記のほかにも、弘前会場においては広いスペースを確保できたため、介護予防スポーツ競技「ボッチャ」が体験できるコーナーも設けて来場者に楽しんでもらった。



写真6 新企画 介護レクリエーション体験①
「タイムしりとりゲーム」



写真7 新企画 介護レクリエーション体験②
「介護予防スポーツ ボッチャ」

6) 介護福祉がよくわかるパネル展示

各会場とも、介護福祉に関する各種情報を盛り込んだ大型パネルを展示（以下、パネル展示とする）した。ステージ前の通路に、介護福祉士の内容や資格の概要、資格取得に向けたルート、介護・障がい施設・事業所などの概要などについて、説明や図表、イラストなどによりわかりやすく掲載した大型パネルに加え、本学の取組や学生による学習成果などについて紹介したパネルも設置し、来場者に見てもらった。またこれにあわせて来場者アンケートも実施し、回答者には介護食の調理に用いられているとりみ剤やレトルト食品などを無料で配布した。



写真8 介護福祉がよくわかるパネル展示

※以下、紙面の都合上、タイトルと記録写真のみ掲載する。

7) 防災グッズ 展示コーナー

8) 介護福祉機器・用品体験・相談コーナー

9) イベントリーフレット・福祉の仕事ガイドブック・オリジナル介護マンガ冊子 配布

10) 介護学生による学習成果発表

11) その他

・新型コロナウイルス感染防止への対策・対応

①手指消毒用アルコール噴霧器設置、②ソーシャルデスタニング及びマスク着用・手指消毒の啓発ポスター掲示、③来場者アンケート回答時に使用するバインダー及びペンのアルコール除菌

・来場者プレゼント（無料配布）

①マスクケース、②アルコールタイプウェットティッシュ、③発熱チェックシート、④介護食（レトルト食品やゼリーなど）



写真9 介護福祉機器を体験する来場者の様子



写真10 介護福祉用品について学ぶ来場者ら

4. 効果

1) 来場者アンケートの実施

来場者にアンケートを実施し、3会場合計420名から回答を得た（令和2年度比44%増）。アンケート内容は、性別、年代、住所地などの基本属性に加えて、パネル展示などを閲覧する前と後とは、介護福祉に対するイメージがどのくらい変化したかについて、「楽しさ」・「魅力」・「理解度」・「興味」の4項目について測定した。また、意見・感想について自由記述欄を設けた。以下、アンケート結果と分析について記す。なお、アンケートへの回答は来場者の任意である。

2) 各設問に対する回答結果

問1 回答者の性別

- 男性149名、女性271名（計420名）

問2 回答者の年代

- 上位順に、30歳代83名、40歳代73名、50歳代59名、10歳代44名、などであった。また、女性の来場者が約65%、男性が35%であった。

問3 回答者の住所地

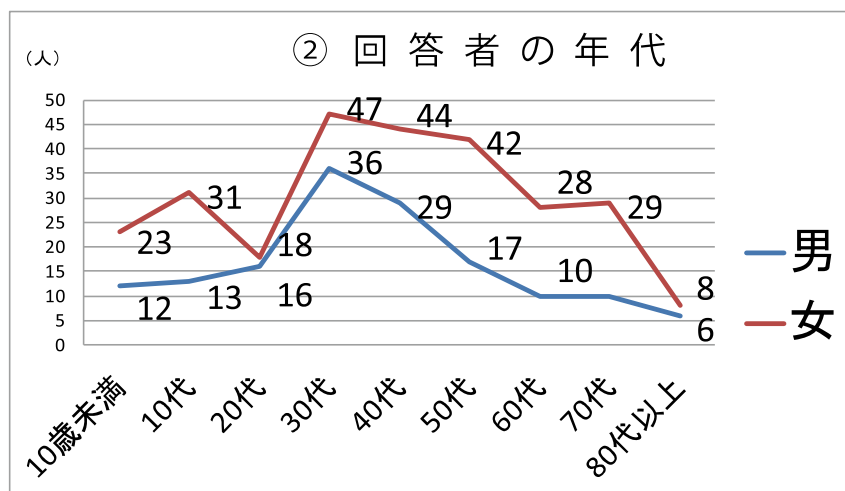
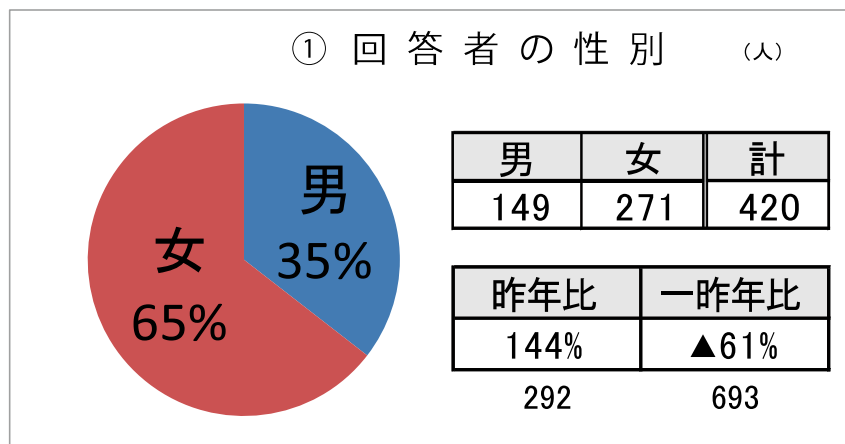
- 上位順に、弘前市183名、青森市134名、五所川原市30名などであった。

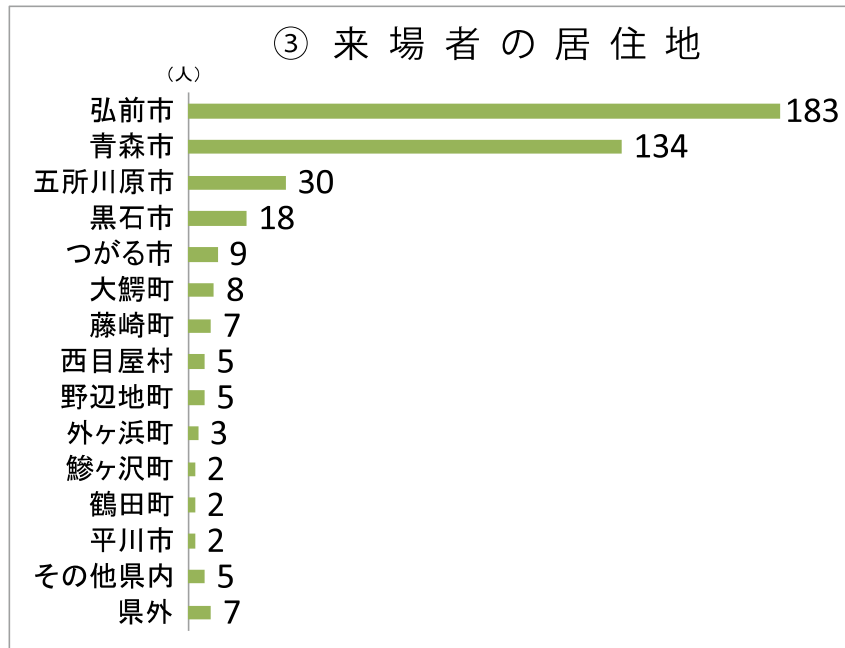
問4 展示閲覧など前後の介護福祉に対するイメージ変化

- 「楽しさ」・「魅力」・「理解度」・「興味」の4項目ともに、「とても楽しくなった」などの第1位に値する項目が一番多く、次いで「楽しくなった」などの第2位に値する項目が多い結果となった。

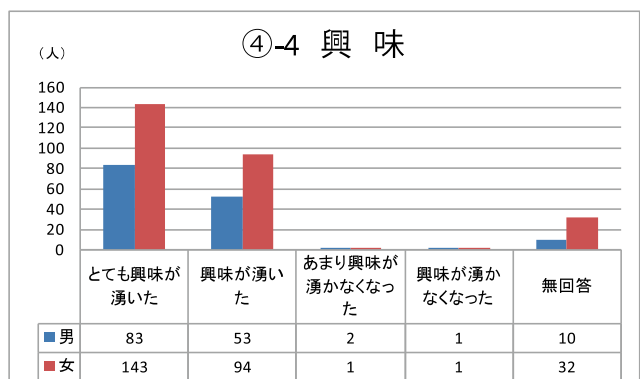
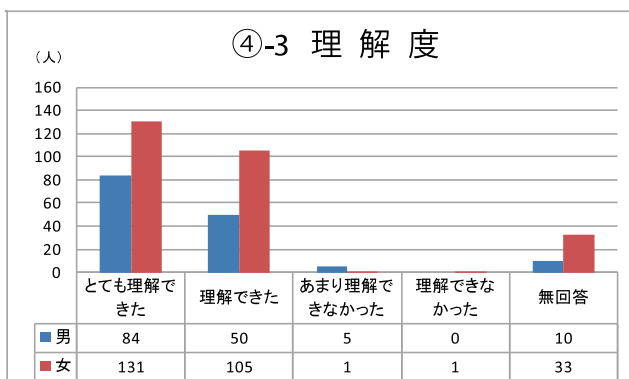
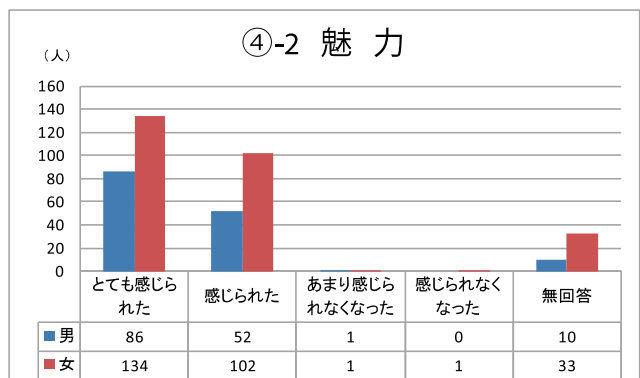
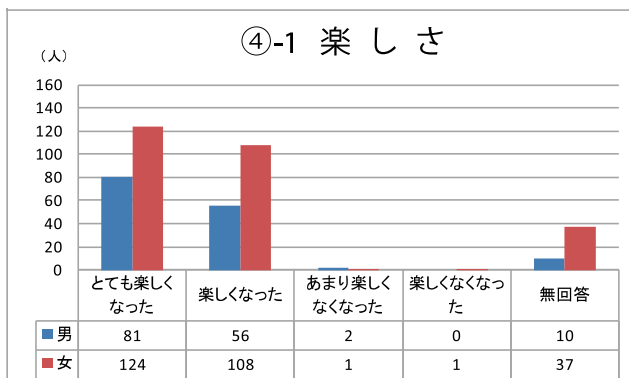
問5 意見・感想

- 全年代を通して計61名の記述があった。





④ 介護フェスタパネル展示などの閲覧前後での介護福祉に対するイメージ変化



⑤意見・感想

年代	性別	内容（原文）
10代	男性	クイズたのしかった。
	男性	介護が魅力ある仕事であることがよく分かった。
	女性	トークセッションの学生の方がとても素敵でした！
20代	男性	展示が見やすい。
	男性	あまり知らない、普段ふれないことなので勉強になった。
	女性	今後の介護に期待しています。
30代	女性	生活相談員や施設の詳しい内容を知りたくなった。
	男性	スタッフさんの対応がこの辺では一番でした。
	男性	介護のことが楽しく学べました！
	男性	最新のベッド気持ちよかった。
	男性	よかった。
	女性	パネル展示の他に〇×クイズをしていて、もっと理解出来そうで良かったです。
	女性	現在、介護の仕事をしているので、今日の話を聞いて、色々役立てたいと思いました。
	女性	介護は大変などといったマイナスイメージがあるけれど、それ以外にも楽しいとかやりがいがあるなどのプラスなイメージがあることをもっと伝えていってもらいたいです。
	女性	実際に見せて教えていただけるのは大変貴重な機会だと思いました。
40代	男性	初めての介護体験だったのでちょっと不安です。
	男性	防災講座とても勉強になりました！
	男性	クイズ大会、勉強になりました。
	男性	介護も人手不足なのでコロナに負けないで頑張ってください。
	男性	若い学生さんが楽しく学んでいることが伝わりました。頑張ってください。
	男性	若い人たちに介護の魅力を伝えたいと思いました。
	男性	救急講座ためになりました。毛布の搬送やってみたい。
	女性	介護に進む若い方が減っていますが、明るく学びたいという気持ちにさせてくださっています。
	女性	見学しやすく、親切にご対応いただきありがとうございます！
	女性	楽しかった。
	女性	楽しかったです。
	女性	エアマットの寝心地の良さと、立ち上がりやすさにびっくりした。
	女性	家族の介護のヒントになりました。ありがとうございます。
	女性	友達の相談に乗っていただきありがとうございます。
50代	男性	若い世代の介護士が頑張っていて頼もしく思います。
	男性	たいへんな仕事だと思います。
	男性	たのしかった。
	女性	ハコデベッドは一般家庭でも備品にしたい。
	女性	介護職をしています、まだ知らないことを知ることができて楽しかったです。
	女性	介護の魅力が伝わってきました。
	女性	普段の日常で見れないものを見学できて良かったです。ありがとうございました。
	女性	寸劇よかったです。
60代	女性	子供が介護福祉士を目指しているので応援したい。
	男性	説明する人が少ないのでほしい！
	女性	トークセッションが充実して楽しく、よく理解できた。
	女性	しりとりゲームが楽しかったし、今後の役に立つと思う。
	女性	このイベントは社会に役立っています。
	女性	日常生活が困難な高齢者に対してサポートできること、役に立つことは良いと思います。
	女性	トークセッションが充実した内容でよかった。展示物も大変参考になりました。現場でのコロナ対策に興味を持ちました。
	女性	新しい物を見せていただきました。
70代	女性	救急講座はとても勉強になりました。
	女性	相談していただきありがとうございます。
	男性	補助車を使ってトイレを1人で利用できる開発を考えてほしい。
	女性	現場で頑張っている方とこれから介護福祉士を目指す方双方のお話が聞けて良かったです。
	女性	タイムしりとりがととても楽しかったです。なかなか時間内に全部できないですね。
	女性	タイムしりとりゲームを担当している方の表情が柔らかい感じの方でとても良かった。楽しかった。
	女性	勤めを続けている人が何年くらい続いているかについての質問に丁寧に答えてくださってよかった。
	女性	認知症(周辺症状で悩み)のことについて相談したいです。明日また来ます。
80代以上	女性	そろそろお世話になる年になりました。明るい老後にしたいです。
	女性	良い企画ですね。
	男性	協力したいです。
	男性	毎年来ています。
	男性	高齢なのでいつどんな時世話になるかと思うと大事な仕事ですね。
年齢不詳	女性	トークセッションが良かった。
	女性	介護される年代なのでやってみたい。
年齢不詳	女性	今日、夜勤明けで来たのですが、これがあるのか、どうやってやるのだろうと興味が湧きました。

5. まとめ

昨年度に引き続きコロナ禍における「介護フェスタ」の開催となったが、感染対策を万全にしてイベントを進行することができた。介護施設・事業所や自宅における介護場面では、たとえ感染症蔓延期にあっても止めるわけにはいかないといった性質を併せ持っている。そのため、感染症下における正しい予防策を徹底した介護が求められるわけであるが、今回のイベントを通してこうした点についても啓発できたものと捉えている。今後も引き続き、エッセンシャルワーカーとしての一翼を担う介護福祉職を養成する教育機関として、福祉・介護人材確保に向けて引き続き寄与していきたい。

最後に、補助金の事務に際しご指導いただいた青森県健康福祉部健康福祉政策課、会場をお貸しくださった各商業施設の受入担当者、介護福祉機器・用品及びパネル展示、リーフレットやグッズ類などの作成に際しお世話になった関係業者、広報宣伝にご協力いただいた各報道機関及び行政機関、ご来場くださった多くの方々から感謝申し上げる次第である。

・役割分担（敬称略）

1) トークセッション出演者

	11/3(祝・水) エルム	11/7(日) マエダガーラ	11/13(土) イオンタウン
若手介護福祉士	安達 央帆	村中 恵美	成田 光治
介護福祉学生	速水 亮成	三浦ひなた	對馬真輝斗

2) 教職員・学生スタッフ

	11/3(祝・水) エルム	11/6(土) マエダガーラ	11/7(日) マエダガーラ	11/13(土) イオンタウン	11/14(日) イオンタウン	その他 準備日など
企画担当	中村 直樹					
事務担当	佐藤 吉彦					
教職員 スタッフ	戸来 陸雄 早川 和江 荒谷 雄幸 相馬 陽子 福士 尚葵 久保 浩介	戸来 陸雄 中川 貴仁 相馬 陽子 福士 尚葵 荒谷 雄幸 鳴海 圭佑 久保 浩介	戸来 陸雄 山口かおる 相馬 陽子 福士 尚葵	戸来 陸雄 塩谷 千晶 相馬 陽子	戸来 陸雄 工藤 雄行 相馬 陽子 荒谷 雄幸 鳴海 圭佑 久保 浩介	戸来 陸雄 中村 聡 工藤 雄行 塩谷 千晶 相馬 陽子 山口 敬義 葛西祐二郎
学生 スタッフ	小野 旭 坂本 春菜 速水 亮成 松野 楽々 三浦ひなた 大畑 翼 工藤 颯太	成田 康晴 對馬真輝斗 速水 亮成 遠山 葉月 福士 遙叶	成田 康晴 松野 楽々 三浦ひなた 木村 享兵	坂本 春菜 對馬真輝斗 遠山 葉月 成田 康晴	福士 遙叶 羽下香織里 對馬真輝斗 成田 康晴	羽賀 一紗

文献

- 1) 青森県：青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン（解説編）. 13-19. 2016.
- 2) 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会：近い未来の介護福祉士.
<http://kaiyokyo.net/future/index.html>（最終閲覧日 2021/12/20.）